

牡幼だより

第10号

【ホームページ】<http://www.botanyama-k.city-niigata.ed.jp>



～美しい、松の雪つり～



「魔法のことば」は

今年初の寒波のために、幼稚園が休園になった翌日のことです。登園した子どもたちは、窓越しに真っ白になった砂場をながめながら、「真っ白だね。」「雪の上で泳げるかな?」と思いつきのことをおしゃべりしていました。

担任が、「そろそろ外に行く準備をしようか。」と声を掛けると、子どもたちは大喜びで身支度を始めました。内履きを脱いでスノーブロンに足を通す、手袋をする前に上着を着る、上着を着る前に帽子をかぶっておくと素手のままで準備がしやすい等々、外へ出るための身支度は一苦労です。担任が「ズボンの裾を靴下の中に入れておくと、もっといいよ。」と雪遊びの知恵を知らせると、子どもたちは自分でやろうと一生懸命でした。

身支度をする何気ない生活の中にも担任の意図がかかれています。決して担任が「させる」のではなく、子どもが主体的に「気付く」ように、保育者として担任が留意して「すること」なのです。そして、あたかも自分でやってみたら「できた」と喜ぶ子どもの気持ちをすかさず褒める担任の言葉は「魔法のことば」です。

2学期も楽しいことがたくさんありました。行事や他園との交流、そして何より思いっきり楽しんだことは「ドッチボール」でした。初めは簡単なルールから始まりま



した。ボールを投げる姿もおぼつかない様子でした。そして、ボールが当たったりチームが負けると怒ったりしてゲームが中断することもありました。じっくり遊びながら、様々な課題を乗り越えドッチボールの面白さを知った子どもたちでした。一番すてきだったことは、ゲームはやりたいけれど負けるのが嫌でやりたくないと言いついた友達に、周りの子どもたちが「次にチャンスがあるかもしれないよ。」「もう一回やってみよう。」と励ましていたことです。8人揃って再度ゲームをしたときには、どの子も充実した様子でした。これも子どもたちの「魔法のことば」のお陰ですね。



明日から、冬休みです。親子で過ごす時間が増えることと思います。ご家庭でも「魔法のことば」がたくさん見つかるといいですね。健康や安全に気をつけてよいお年をお迎えください。





大根の収穫(12/9)

夏休み明けに種をまいた大根が大きく育ちました。子どもたちが育てた大根は、甘酢漬けやおでんにしていただきました。おうちに持ち帰った大根はどんなお料理になったことでしょうか？



〇〇〇

もちつき会(12/13)

地域の乙川さんをお迎えして、二升のもちをつきました。子どもたちも杵を持ってべったん！べったん！大活躍です。つきあがったもちを、親子で鏡餅を作りました。

クリスマスたのしみ会(12/22)

クリスマスたのしみ会は、真っ暗な遊戯室にろうそくの光がゆらゆら揺れやかな雰囲気が始まりました。みんな♪ジングルベル♪の曲に合わせて踊っていたら、どこからか鈴の音が聞こえてきました。今年も牡丹山幼稚園に、あわてんぼうのサンタさんがきてくれました。サンタさんは本当に慌てていたようで、テラスに帽子を忘れて行ってしまいました。プレゼントをもらった子どもたちは空に向かって「サンタさ～ん、ありがとう！」



サンタさんの帽子



生活発表会。電池がなくなったロボットたちは魚のお母さんに連れられて？



すこやかタイム(食育)。今回は体の力になる赤(タンパク質)のお話でした。



夏に収穫して干しておいたポップコーンの種を取る作業をしました。



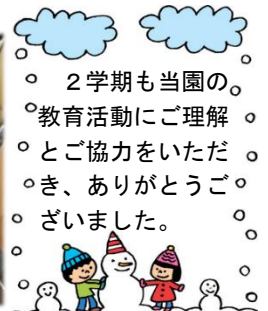
新潟県立幼稚園のほし組さん、さくら組さんと遊びました。全部で24名の子どもたち。



雪遊び初日。みんなで雪と戯れたいそりに友達を乗せて引っ張り回して、遊びました。



雪の下から大根を掘り出しました。おでんパーティー大成功！



〇 2学期も当園の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。

